



園庭のもみじが赤く色づき、落ち葉をたくさん集めてもみじ狩りを楽しむ子どもたちの姿が見られています。

先月はお芋ほりや秋の遠足など、この時期ならではのイベントを楽しむことができました。

もり組さんにとっては初めてのお芋ほり。

春に年長さんが、「秋になったら年少さんがお芋ほりができるように」と、植えたものです。

土の中から出てきたたくさんのお芋に驚いたり、喜んだり、たくさんの素敵なお表情を見てくれました！

土の感触や匂いに触れて、自然を感じることができました。

掘ったお芋は後日、みんなの前で調理をしておいしくいただき、年中さん、年長さんになったら自分たちでクッキングすることができるんだ、ということも知りました☆

秋の遠足ではうみ組さんと一緒に手を繋いで、中央公園に行ってきました。

出発前から「おなかすいた～」「お弁当食べたい！」と、なによりお弁当が楽しみな子どもたち。

中央公園までの道のりでは、黄色いいちょうの葉っぱがたくさん落ちていて、「きれいだね～」とここでも秋を感じながら楽しく歩くことができました。

公園に到着すると、みんなでおやつタイム♪

いつものお散歩とはちょっと違う雰囲気に子どもたちはワクワクしている様子でした❶

おやつを食べて集合写真を撮ったら、公園の遊具でめいっぱい遊びました！

保育園に戻ったら、みんなが待ちに待っていたお弁当！

園庭に敷物を敷いて、お弁当箱を開けた時のみんなの嬉しそうな笑顔♪

最高のひとときでした。

朝早くからのお弁当作り、どうもありがとうございました。

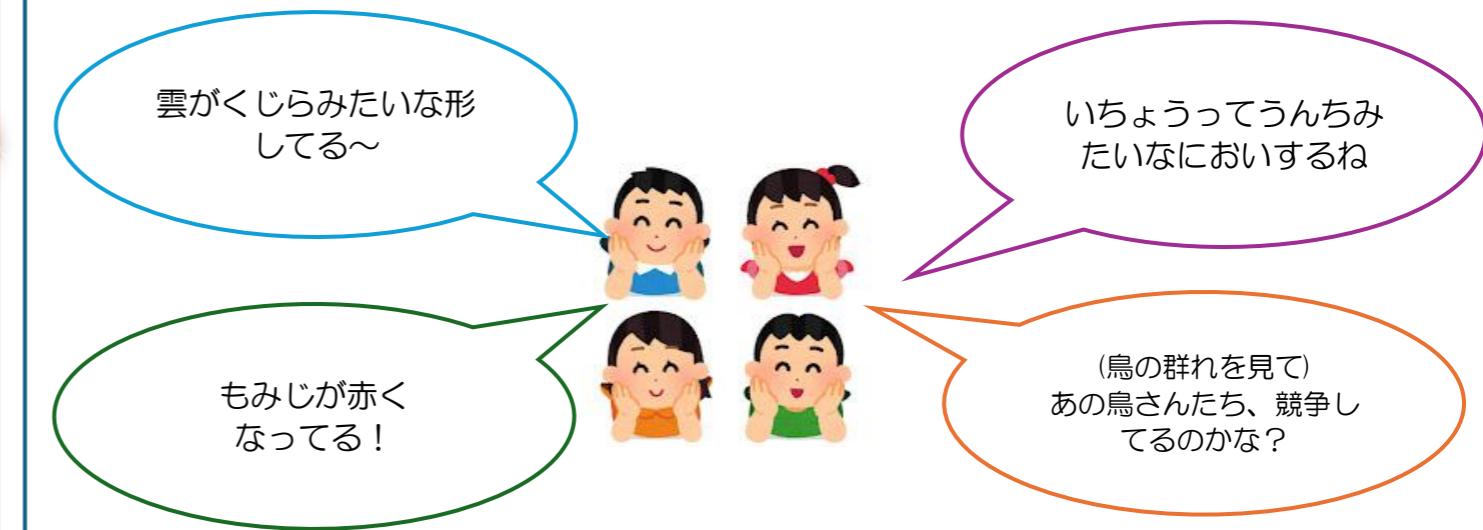
秋らしい体験ができた11月。これからも様々な経験を通じて子どもたちの心や体がのびのびと育っていく姿を大切にしていきたいと思います。



幼児期の終わりまでに育つてほしい10の姿「豊かな感性と表現」について

10の姿における「豊かな感性と表現」とは、季節の変化や友だちとの関わり、遊びの中で感じた気持ちを大切にして、それを言葉や絵、身体の動きなどで表す力を育てるなどを指しています。

子ども会などはまさしく、音楽に心が動いたり、友だちと気持ちを合わせる嬉しさを感じたり、子どもたちの中にさまざまな「感じる力」が育っていく代表的な行事であるといえますが、日常の中でもそのきっかけや出来事はたくさんあります。



こういった子どもたちの小さな発見や経験からごっこ遊びに発展したり、不思議と感じたことを調べてみたり、絵に描いてみたり、作品にしてみたり…と日常の何気ない場面にも豊かな感性と表現の育ちが表れています。

大人はその小さな気づきや何気ない一言をしっかりと受け止めて、感じたことを共有して表現の楽しさやおもしろさにつなげたり、子ども自身がそれぞれに表現する楽しさを大切にするなどして、子どもたちの育ちのお手伝いをしています。

12月の子ども会では、役になりきって演じたり、友だちと一緒に歌をうたったり、子どもたちなりの「表現」をたくさんご覧いただけるかと思います。子どもたちの頑張りや成長を、一緒に感じていただけたら嬉しいです。

